

## 1. 組織強化、組織拡大の取り組み

組織運営体制と運動内容のあり方検討「まとめ」に基づき、連合岡山の組織強化、持続可能な運動の確立と定着化をはかります。

また、すべての職場において「集团的労使関係」の構築をめざすとともに、3年後の「1000万連合」の実現に向けて、構成組織および地協との密接な連携のもと、組織拡大を最優先課題として取り組みます。

### (1) 組織・財政の強化

- ① 執行委員会、三役会議、専門委員会は、年間活動計画に基づき開催するとともに、機関手続きに向けて民主的かつ真摯な論議を行います。
- ② それぞれの産業政策の実現に向けて、金属部門、交通・運輸部門、官公部門の各連絡会の自律的な運営と機能強化をはかります。
- ③ 連合岡山の運動については、組織運営体制と運動内容のあり方検討「まとめ」に基づき、適宜、機関手続きを行いつつ、それぞれの取り組みを着実に実施・展開していきます。  
また、取り組みの過程において課題等が生じる場合「地協との対話集会」や対話活動等で意見を集約し、財政・組織専門委員会において分析・検討するなど、チェックとフォローを行います。
- ④ 年2回の対話強調月間を設定し、春季生活闘争方針や連合岡山の運動方針、各種取り組みなどについて、各構成組織、地協との共有化をはかります。
- ⑤ 新たに連結決算会計システムを導入する地協との密接な連携のもと、持続可能な財政基盤の確立に向けて、収支状況を十分チェックします。また、労働福祉事業会館の老朽化・耐震化問題について、会館管理組合の検討状況を注視しつつ、対応します。
- ⑥ 2020年には、連合岡山が結成して30年の節目を迎えます。組織運営体制と運動内容のあり方検討「まとめ」に基づく運動等を着実に展開し、次の飛躍に向けて確かな一歩を踏み出していくため、専門委員会において「検討委員会」を設置のうえ、記念事業等の取り組みについて検討します。
- ⑦ 連合運動への参画や次代を担うリーダー育成の観点から、ユースター委員会の活動強化、活性化などに取り組みます。

### (2) 組織拡大の取り組み

- ① 「12万連合岡山」の実現に向けては「1000万連合実現プラン」やその行動計画である「ロードマップ」に基づき、連合本部、構成組織、地協との密接な連携のもと、組織の総力をあげて取り組みを強化します。
- ② 組織化案件や連合岡山ふれあいユニオンの加盟組合の状況について、構成組織への移行も視野に入れつつ、組織拡大チーム会議等で共有化をはかります。
- ③ 各地協は、労福協「ライフサポートセンター」との密接な連携のもと、組織拡大に繋がる事案があった都度「労働相談連絡会議」を開催し、個人情報管理を徹底のうえ、対応状況の共有化をはかりつつ、組織化に向けて対応します。

- ④ 経営者団体等に対し、労働組合の重要性や社会的価値についての理解促進に努めるとともに、労働組合・集团的労使関係の重要性等をアピールする取り組みを行います。また「岡山県中小企業家同友会」とのさらなる関係構築に向けて、定期的に意見交換を行います。
- ⑤ 未加盟組合への対応にあたっては、第一対応分、とりわけ各地協が設定した「集中対応組織」に対して、時機を逸することなく連合岡山への加盟について働きかけを行います。
- ⑥ 岡山退連の活動強化・組織拡大のための協力・支援を行います。  
また、連合岡山専従役職員のOB等により新たに発足する「連合岡山退職者の会」の運営に参画します。